

家庭での防火対策は できていますか？



富士市消防防災
キャラクター「ふじ坊」

防火対策について、各家庭でもう一度、確認してみましよう。

〔火災発生状況〕

平成27年中に市内で発生した火災件数は、84件でした。火災種別では、「建物火災」が42件、「車両火災」が6件、「その他の火災」が36件でした（左表参照）。また、出火原因は、「放火・放火の疑い」が30件、「たばこ」が11件、「火遊び」が4件です。

平成27年火災発生状況 (単位：件)

	平成27年	平成26年	前年比
建物火災	42	55	-13
林野火災	0	1	-1
車両火災	6	9	-3
その他の火災	36	27	+9
合計	84	92	-8

〔我が家を守る心がけ〕

次のことに注意して、家庭での防火対策に努めましよう。

放火火災対策

- 屋外に燃えやすい物を放置しない。
- 外出時や就寝時は、必ず玄関などの施錠をする。

- ごみは、収集日の決められた時間に出す。
- 建物の周囲には、できるだけ外部からの死角をつくらない。

たばこ火災対策

- センサーライトなどの防犯用品を活用する。
- 絶対に寝たばこをしない。
- 火のついたたばこを灰皿に置いたままにしない。
- 灰皿には、吸い殻をためない。
- 吸い殻は、完全に火を消してから捨てる。

コンロ火災対策

- コンロの周りに、燃えやすい物を置かない。
- 揚げ物をしているときは、その場を離れない。
- 台所を離れるときは、必ず火を消す。

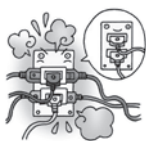
電気器具火災対策

- 電気製品は使用上の注意をよく読んでから使う。
- 電気コードを家具など重い物の下敷きにしない。
- タコ足配線はしない。
- コンセントのプラグは、ほこりがたまらないように定期的に掃除する。

〔大地震による火災対策〕

※地震による火災対策として、感震ブレーカーが効果的です。また、避難する際は、ブレーカーを落とすことをお勧めします。

※地震の揺れをセンサーが感知し、一定の震度以上で自動的に通電を遮断する器具です。



住宅用火災警報器を 正しく設置していますか？

皆さんの家にも、住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。大切な家族を守るために、設置・点検をしましょう。



住宅用火災警報器は、**10年**を目安に、**とりかえ**！

住宅用火災警報器は、**10年**を目安に交換をおすすめします！

古くなると火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。10年を目安に交換しましょう。

〔設置時期を調べるには〕 設置時に記入した「設置年月」または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

新しい火災警報器に交換したら！

本体の側面などに、油性ペンで「設置年月」を記入しましょう。



これから10年間、
また安心を見守るよ！



記入例
設置年月 2016年 7月

定期的に作動確認し、警報音を聞きましょう！

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

正常な場合は？

メッセージまたは警報音が鳴ります。

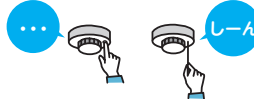
ビビ、
ピーピーピー

ピーピーピー
火事です



音が鳴らない場合は？

電池がきちんとセットされているか確認してください。



詳しくは、市ウェブサイトをのぞいてください。
※くらしと市政↓防災・安全安心↓消防・救急↓火災予防↓住宅用火災警報器
↓ついでですか？住宅用火災警報器！

問い合わせ／消防本部予防課

☎(55)2859

FAX(53)4633